

# 平成31年度 年間指導計画(シラバス)

教科名	地歴公民	科目名	現代社会	単位数	2	履修学年・クラス	1ABC
担当者				使用教材	「現代社会」東京書籍		

## 1 学習目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力を育てる。

## 2 学習方法

授業は教科書・ノート・プリント・資料集を使う。授業をしっかりと聞いてノートをしっかりとること。また、単元ごとに確認プリントをおこなうので、日々の授業で覚えるべき事項はその場でしっかり覚えておくこと。グラフ・年表の読み取りや、新聞などにより時事問題の基礎的な内容も学習する。以上のように多面的な学習をすることで、試験前に必ず学習内容を復習し、試験に備えること。

## 3 学習評価

評価の観点	関	関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的な事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身につけ、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。
	思	思考・判断・表現	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的な事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
	技	技能	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通じて収集し、有用な情報を主体的に選択して活用し、学び方を身につけている。
	知	知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につけている。

## 4. 学習計画

学期	内容のまとまり	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				関	思	技	知		
前期 中期	第2部・第4章	1 経済のしくみ	①経済社会の変容 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと働き ⑥中央銀行の役割と金融の自由化 ⑦政府の役割と財政	○				関: 現代の市場経済の現状と特質に関心をもち、自ら経済活動の主体として現代日本の金融・財政問題について、意欲的に追求しようとしたか。 思: 現代の市場経済の特質と現代企業の特徴を理解し、日銀の金融政策や政府の財政政策の現状と課題を見出したか。 技: 技術革新と寡占・市場の失敗との関連や、政府、日銀の政策とバブル経済や財政危機とのかかわりをとらえられたか。 知: 公定歩合と株価や地価との関係、国債発行額及び依存度の推移と財政危機とのかかわりを統計資料からとらえ、理解したか。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
		2 変化する日本経済	①戦後復興と高度経済成長 ②産業構造の転換と国際経済環境の変化 ③バブル後の日本経済 ④中小企業と農業	○	○	○	○	関: 戦後の日本経済の歩みと現状に関心をもち、環境・労働・社会保障などの諸問題を自らの問題として主体的にとらえたか。 思: 戦後の日本経済の歩みと現状を理解し、公害問題・消費者問題・労働問題・社会保障問題の現状と課題を見出したか。 技: 日本経済の歩みと国際経済とのかかわりを理解し、現代の経済の問題と問題解決の視点をとらえているか。 知: 戦後の経済成長率の推移と景気変動との相関関係や、国際化時代の日本経済の現状をとらえ、理解しているか。	
前期 期末	第2部・第5章	3 豊かな生活の実現	①自立した消費者への道 ②労働者の権利 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割 ⑤環境保全と循環型社会	○	○	○	○		
		1 国際政治のしくみと動向	①国際社会の特質 ②国際紛争を避けるしくみ ③国際連合と安全保障 ④国際連合の役割と課題 ⑤冷戦とその後の世界 ⑥軍縮への取り組み	○	○	○	○	関: 国際経済の動向と世界各地の地域経済に興味をもち、経済摩擦や南北問題の現状をとらえ、自らの役割を考えるようになったか。 思: 国際経済の原理と戦後の国際経済の動向を理解し、経済摩擦の問題や南北問題の現状と日本の役割を見出したか。 技: 国際経済の動向と地域的経済統合の現状から、経済摩擦や南北問題の原因及び解決のための視点をとらえたか。 知: 国際社会において相互依存関係が深まっていることや、国際問題解決に国際機構が果たす役割について理解しているか。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
		2 国際経済のしくみと動向	①貿易と国際分業 ②外国為替のしくみと国際収支 ③戦後国際経済の枠組みとその変化 ④対立と協調の時代 ⑤グローバル化する経済	○	○	○	○		
		3 国際社会の現状と課題	①地域統合の進展 ②変容する世界経済 ③国際的な格差の是正	○	○	○	○		

			④地域紛争と難民問題 ⑤国境をこえて広がる地球規模の課題 ⑥日本の役割	○	○	○	○			
後 期	後 期 中 間	第1部	1地球環境問題		○	○	○	○	関： 現代の地球環境問題に関心を持ち、地球環境が抱える諸課題のしくみを理解し、今後の取り組みについて考察しているか。 思： 地球環境の諸課題と身近にある環境問題を関連づけて、その課題を見出し、将来世代のために何ができるか自覚しているか。 技： 環境問題の発生メカニズムと人間の経済活動の関連をとらえられたか。 知： 地球全体の環境問題を数値資料や記録資料からとらえることができ、環境対策の数値目標の意味を理解しているか。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
		第2部・第1章	1現代社会と青年の生き方 2よりよく生きようを求めて	①現代社会と青年 ②青年期の発達課題 ③自己形成と社会とのかわり ④進路と生きがいの創造	○		○	○	関： 青年期にある自分の在り方生き方に関心を持ち、社会と自分とのかわりを主体的に考察したか。 思： 青年期の心理的特質を理解し、職業や社会参加に向けて自己形成の課題を見出したか。 技： 青年期の自己形成の課題と社会が期待する人間像とのかわりとらえ、その歴史の変遷を理解したか。 知： 青年期を考える作品を通して、現代社会における青年期の特質と課題をとらえたか。	
	第2部・第2章	2第2章日本国憲法と民主政治 1民主政治とは 2日本国憲法の基本原理	①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③世界の政治体制	○		○	○	関： 人権思想と近代国家の発展の歴史に関心を持ち、基本的人権の尊重や民主主義における人間の在り方について考察しようとしたか。 思： 近代政治と人権保障の歩みを理解し、国民主権、多数決原理、権力分立など民主政治の基本原則を見出したか。 技： 近代の人権思想の歩みと民主主義国家の政治原理を、現実の政治機構とのかわりでとらえたか。 知： 近代民主政治の歩みを歴史的宣言文書や思想家の考えを通して、民主主義の原理の形成過程をとらえたか。		
	第2部・第2章	3日本の政治機構	①日本国憲法と三つの原理 ②基本的人権の保障(1) ③基本的人権の保障(2) ④新しい人権と人権保障の広がり ⑤平和主義と安全保障	○		○	○			
	第2部・第2章	4現代政治の特質と課題	①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治	○		○	○			
	第2部・第3章	3第3章 現代社会と法 1現代社会と法	①法の働き ②社会生活と法 ③司法と人権	○		○	○	関： 個人の尊重を基礎として、自由や権利、責任と義務、人間の尊厳と平等、法と規範の意味などを意欲的に追求したか。 思： 民主社会を主体的に生きる個人として、法やその他の規範の内容を吟味し、よりよいものにしていこうとする努力が大切であることを自覚したか。 技： 法の一般性、明確性など法が備えるべき特質を理解したうえで、法の適切さを考える視点を身につけたか。 知： 日常生活と法とが密接に関連していることを、具体的な事例を踏まえ理解したか。		